



ID: 1173

科目名	文学【26年度生用】			コード			
英語表記	Literature						
担当教員名	鎌田 出			年度	平成26年度		
基準年次	1年次	開講期	前期		単位数		
授業形態	講義	授業形式			履修形態		
授業概要							
桑原武夫『文学入門』(岩波新書)は、その第一章において「なぜ文学は人生に必要なか」という項目をたてている。不断見過ごしてしまっているこの「文学」の存在意義について改めて見直すことを学ぶ。							
到達目標							
「なぜ文学は人生に必要なか」という問いの答えを受講生各自が見出すと共に、学問としての「文学」に関する基本的知識を習得する。							
授業計画							
第1回	ガイダンス	…授業の運営方針等について説明する					
第2回	「文学」とは何か	…「文学」という言葉の一般的な意味					
第3回		…「文学」という言葉の定義					
第4回		…「文学」の存在意義					
第5回	「文学」研究について	…「文学」研究概観					
第6回		…「文学史」について					
第7回		…「文学史」選読					
第8回		…「文学批評」について					
第9回		…「文学批評」選読					
第10回		…「文献学」について					
第11回		…「文献学」選読					
第12回		…新たな「文学」研究展望					
第13回	「文学」の実例	…作品選読①					
第14回		…作品選読②					
第15回	まとめ	…課題レポートに関する指導					
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
平常点(出席、授業態度、教場レポート)および期末試験に代わる課題レポートにより評価する。原則として2/3以上の出席、教場レポートの提出を単位認定の要件とする。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
			30%	10%	30%		30%
授業外学習			テキスト、教材				
常日頃より「文学」作品に親しんでおくこと。教場レポートにおいて、内容等に関する質問を行うことがある。			プリントを配付する。				
参考書			受講生へのメッセージ				
川本皓嗣・小林康夫編『文学の方法』(東京大学出版社)			学問としての「文学」とは何かを学んでもらいたい。				
キーワード							
文学、文学研究、文学史、文学批評、文献学							